

非血縁者間骨髄採取認定施設  
麻酔責任医師各位  
採取責任医師各位

公益財団法人 日本骨髄バンク  
ドナー安全委員会

## 非血縁者間骨髄採取時の麻酔関連事例について

拝啓

時下、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、非血縁者間骨髄採取において、全身麻酔の維持をデスフルランとレミフェンタニルで行うところ、デスフルラン気化器の電源が入っていなかった事例が報告されました。この報告を受け、本委員会で検討した結果、再発防止の観点から注意喚起することといたしました。

つきましては、下記内容をご確認いただき、適切なお対応をお願いいたします。

敬具

### 1. 概要

手術開始後、レミフェンタニル投与量を増量、骨髄採取針を刺した際2回バックキングを認めたが、穿刺後はバックキングがなかったため、レミフェンタニル投与のみで対応した。手術開始30分経過後に呼気デスフルラン濃度がモニターに表示されていないことに気づき、気化器ではデスフルランの残量0だったため、デスフルランを追加投与したが残量目盛は変化なく、セボフルラン投与開始した。デスフルラン気化器が作動していなかったのは、電源が入っていなかったためであった。

### 2. 対応：日本麻酔科学会「安全な麻酔のためのモニター指針」ならびに

「骨髄バンクドナーに対する麻酔管理について」を遵守すること。

■ 安全な麻酔のためのモニター指針 <2019年3月改訂>より抜粋

- ・【注意】全身麻酔器使用時は日本麻酔科学会作成の始業点検指針に従って始業点検を実施すること。

<参考 日本麻酔科学会 HP 指針・ガイドライン [https://anesth.or.jp/users/person/guide\\_line](https://anesth.or.jp/users/person/guide_line) >

以上